

大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会の開催状況について

市立学校園の現状について

- 近年の市立小中学校における児童・生徒数の推移をみると、南第一小学校や南第三小学校の児童数はそれぞれ減少傾向であるのに対し、東小学校や狭山中学校の児童・生徒数は増加傾向にあり、学校の小規模校化と大規模校化が市内で同時進行していることから、将来的に教育環境等に不均衡が生じる恐れがある。
- 国においては、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、小学校全学年を令和3年度から令和7年度までの間で、35人学級に移行することとなった。今後、中学校にも拡大される可能性がある。
- 市立幼稚園においては、核家族化や少子化の進行、働く女性の増加に伴う保育ニーズの高まりなどにより、園児数が年々減少している。
- 地域に根ざした魅力ある園づくりを進めるため、3歳児保育や預かり保育の通年実施、未就園児事業など保護者の様々なニーズに対応し園児数の確保に努めてきたが、現在、市立幼稚園の園児数は定員を大幅に下回っており、今後も園児数の増加は見込めない状況である。
- 園児数が少ないことは一人ひとりの個性に応じたきめ細かな指導が可能となる一方、同じ年齢集団でのダイナミックな活動や、様々な個性を持った子どもが互いに刺激しあい、遊びを通して学びあう機会が少なくなるなど、望ましい幼児教育の実践が難しくなる。

上記のほか、本市の教育施設が老朽化しており、今後、学校園施設の更新が集中することも踏まえ、施設の統廃合を含めて学校園規模の適正化・適正配置について改めて検討し、市立幼稚園・こども園の効率的な運営及び市立小中学校における良好な教育環境の確保や教育水準の維持向上を図るため、「大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定することとした。

なお、基本方針は令和3・4年度の2年をかけて策定することとし、策定するにあたり、学識経験者や学校・地域関係者で構成する「大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会」を設置し、意見を諮問している。

あり方検討委員会あくまでも、教育委員会が基本方針を策定するために、意見を聴取するための組織であり、基本方針を策定する組織ではない。

○大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会

あり方検討委員会は、令和3年7月6日に第1回を開催して以降、現在まで4回開催している。今後も2か月に1回ペースで開催し、令和4年中に答申をいただき、方針に反映させる予定。

開催状況

第1回

日時：令和3年7月6日（火）19：00～

場所：市役所3階 第1会議室

概要：委員委嘱、委員長、副委員長選出、諮問書手交、方針策定の基本指針の説明

第2回

日時：令和3年10月28日（木）18：30～

場所：子育て支援・世代間交流センター（UPっぴ）2階会議室

概要：市立東小、北小学校の向こう5年の在籍数と教室数の推移と対応についての説明と意見交換

市立狭山中学校の現状と課題についての説明と意見交換

市立幼稚園の現状と課題についての説明と意見交換

第3回

日時：令和3年12月3日（金）18：30～

場所：子育て支援・世代間交流センター（UPっぴ）2階会議室

概要；市立幼稚園の現状と課題についての説明と意見交換

意見書案についての説明と意見交換

第4回

日時：令和4年1月21日（金）18：30～

場所：子育て支援・世代間交流センター（UPっぴ）2階会議室

概要：意見書についての意見交換

2月15日（火）に委員長から意見書を手交
教育委員会としては、本意見書の意見を踏まえ、令和4年度の事業に取り組んでいく方針